

日本薬学会近畿支部

新春特別講演会

「医薬品適正使用に役立つ 医療情報ビッグデータ」

中村光浩 先生

(岐阜薬科大学 実践薬学大講座 医薬品情報学・教授)

講演内容

臨床現場での薬剤効果の評価には市販後の観察研究が不可欠である。大規模副作用自発報告データベース（SRS）により未知の有害事象の検出、特定集団での安全性評価、実臨床での使用実態を反映した安全性評価が可能となる。今回は、SRS を用いた手足症候群、間質性肺炎、スティーブンス・ジョンソン症候群、光線過敏症、顎骨壊死などの有害事象発症プロファイル、およびポリファーマシーに関する解析事例について述べる。

* 日本薬剤師研修センターの1単位が認定されます

日時：平成31年1月11日（金）午後4時～5時50分

会場：からすま京都ホテル

京都市下京区烏丸通四条下ル TEL：075-371-0111

定員：100名（先着順）

参加費：不要

申込締切：平成31年1月8日（火）

申込方法：ホームページ、E-mail、FAX、往復葉書のいずれかにて、「1月11日聴講希望」とご記載いただき、氏名、電話番号を明記の上、下記連絡先宛お申し込みください。
(FAXでお申込の場合はFAX番号もご記載ください)

連絡先：〒606-8501 京都市左京区吉田下阿達町 京都大学薬学部内

日本薬学会近畿支部事務局

E-mail：ykinki@pharm.kyoto-u.ac.jp

TEL/FAX：075-761-7849

主催：日本薬学会近畿支部

協賛：大阪府薬剤師会、京都府薬剤師会、京都府病院薬剤師会

後援：大阪府病院薬剤師会